

三愛高校では、月曜 1 時間目に礼拝を行っている。今回の奨励の内容は、昨年度、とわの森三愛高校で話しをしたことをもとに再構成した。他校のキリスト教主義学校の先生にもご協力いただいた。勉強しないと話せない内容で、個人的にもとても良い学びの機会となった。今回はこのことを、大学の方々とも分かち合いたいと思う。

個人的に、ときどき長期休みを利用して少し遠くの文化を学んでいる。北海道に住んでいるからこそわかることもあれば、道外に出ないとわからないこともある。今回は、その学んだ題材のうち、『ハンセン病』について取り上げてみたい。テレビドラマや映画などで取り上げられる題材にもなるから知っている人もいるだろう。実際に全国にはいくつも施設はあるが、北海道にはない。世の中にはいろいろな形での差別や偏見があるものだと、残念な思いになった。差別の思いの根底にあるもの、それは、私たちの心の中にあるのだな、とも。

これは、過去の歴史の中の出来事であると同時に、今もなお、この差別で苦しんでいる方がいる。私たちの人生は長い。その中で、ハンセン病の話しを聞く機会があるかもしれない。新たな差別で苦しむ人たちが出るのかもしれない。過去の歴史の中で実際に起こり、今も苦しんでいる方々の差別の実態と自分たちにできることを一緒に学んでみたい。是非ともこの機会に、キリスト教主義学校にいるのだから、「人権」について考えてみたいと思った。

【クリスマス・リース作成】

クリスマス・リースの作成（第 1 回）が 11 月 22 日（水）16 時 20 分から、黒澤記念講堂 2 階集会室で行なわれます。楽しく参加してください。

【クリスマス・コンサートの練習】

12 月 19 日のクリスマス・コンサートは聖歌隊・吹奏楽団・室内楽団・合唱団が合同で行います。合同練習は 12 月 4 日・11 日・18 日の 18 時から、吹奏楽団部室で行なわれる予定です。多数の参加をお待ちしております。

【次回の大学礼拝】2017 年 11 月 28 日（火）10 時 40 分～
KNOW GOSPEL によるゴスペル・ライブです。ご期待ください。

【前回の大学礼拝】2017 年 11 月 14 日
学生 318 名 教職員ほか 10 名 合計 328 名

【大学礼拝週報】2017 年度第 24 号（後学期第 9 号）

2017 年 11 月 21 日（火）午前 10 時 40 分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

《大学礼拝》

司 式 高橋優子（キリスト教学教員）
奏 楽 佐藤理恵（野幌教会会員）
讃美指導 相原晴伴（循環農学類教員）

前 奏 「あわれみは われに來たもう」（ペティト作曲）

讃美歌 讃美歌 312 番（いつくしみ深き）

聖 書 マルコによる福音書 1 章 40-45 節

祈 り

さん び

酪農学園大学聖歌隊

奨 励 「差別と偏見の歴史～ハンセン病を題材として～」

石橋紀彦（とわの森三愛高校教諭）

報 告

讃美歌 酪農讃歌

後 奏 「わが心の底より」（メッツラー作曲）

【本日の聖書】マルコによる福音書 1 章 40-45 節

さて、重い皮膚病を患っている人が、イエスのところに来てひざまずいて願い、「御心ならば、わたしを清くすることがおできになります」と言った。イエスが深く憐れんで、手を差し伸べてその人に触れ、「よろしい。清くなれ」と言われると、たちまち重い皮膚病は去り、その人は清くなった。イエスはすぐにその人を立ち去らせようとし、厳しく注意して、言われた。「だれにも、何も話さないように気をつけなさい。ただ、行って祭司に体を見せ、モーセが定めたものを清めのために献げて、人々に証明しなさい。」しかし、彼はそこを立ち去ると、大いにこの出来事を人々に告げ、言い広め始めた。それで、イエスはもはや公然と町に入ることができず、町の外の人のいない所におられた。それでも、人々は四方からイエスのところに集まって来た。

【奨励者からのメッセージ】

とわの森三愛高校で普段は数学科と情報科の教員をしている。勤続 20 年以上ではじめて大学の礼拝にお招きいただき、感謝している。とわの森